

- 問1 7世紀に中国を統一し、律令と呼ばれる法体系に基づく統治制度を確立して、日本をはじめとする東アジア諸国の国づくりに決定的な影響を与えた帝国を選んでください。 (2020年 徳島県公立入試 類似)
1. 漢 2. 唐 3. 宋 4. 隋
- 問2 672年に起きた皇位継承をめぐる最大の内乱である壬申の乱において、天智天皇の子である大友皇子を破って即位した人物は誰か。 (2016年 山形県公立入試 類似)
1. 聖武天皇 2. 桓武天皇 3. 天智天皇 4. 天武天皇
- 問3 聖徳太子が小野妹子を中国の隋に派遣した際、隋の皇帝に宛てた国書の中に「日出づるところの天子、書を日没するところの天子に致す、恙なきや」という一節がありました。このような表現を用いて使節を派遣した聖徳太子の意図として、最も適切な説明を選んでください。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
1. 隋で流行していた新しい仏教の経典を、日本へ無償で提供してもらうため 2. 中国を上位とする従来の形式ではなく、対等な立場での国交を樹立しようとするため 3. 隋の皇帝の臣下として認めてもらい、朝鮮半島での軍事的優位を確保するため 4. 当時の中国の圧倒的な武力を背景に、日本の統治権を委ねる意思を示すため
- 問4 飛鳥時代、仏教の受容に積極的であった蘇我馬子が、大陸から招いた技師の指導を受けて建立した、日本で最初の本格的な寺院を何といいますか。 (2025年 東京都公立入試 類似)
1. 四天王寺 2. 東大寺 3. 飛鳥寺 4. 法隆寺
- 問5 法隆寺に代表される、飛鳥時代の文化の特徴を説明した文として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
1. 禅宗の影響を受け、水墨画や書院造などが発展した東山文化 2. 遣唐使の廃止に伴い、日本の風土や生活に合わせた独自の国風文化 3. 大陸の進んだ技術や仏教の影響を強く受けた、日本で最初の本格的な仏教文化 4. 東大寺の大仏に代表される、鎮護国家の思想に基づいた天平文化
- 問6 大分県などの九州地方の歴史を記した年表において、倭国（日本）の軍勢が朝鮮半島へ出兵し、唐・新羅の連合軍に敗れた「白村江の戦い（663年）」が含まれる区分として、適切な世紀を選びなさい。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
1. 7世紀 2. 6世紀 3. 8世紀 4. 9世紀
- 問7 聖徳太子の死後、中国では隋に代わって唐が統一王朝を築きました。唐が朝鮮半島北部の高句麗を攻撃するなど東アジアの緊張が高まるなか、日本でもその影響を受けて、天皇を中心とする国づくりを目指す政治改革が始まりました。この改革の名称として正しいものを答えなさい。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
1. 建武の新政 2. 明治維新 3. 寛政の改革 4. 大化の改新
- 問8 7世紀半ばの日本において、中大兄皇子や中臣鎌足が蘇我氏を倒して「大化の改新」を進めた歴史的背景や目的の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 徳島県公立入試 類似)
1. 仏教を国家の公式な宗教として指定し、寺院による全国の徴税を始めるため。 2. 唐や新羅の侵攻に備えて、全国に城郭を建設し貴族による地方支配を強めるため。 3. 地方の武士に領地の所有権を認め、幕府を開いて軍事政権を確立するため。 4. 豪族による土地や人民の私有を抑え、天皇を中心とする中央集権国家を築くため。
- 問9 推古天皇の摂政として冠位十二階や十七条の憲法を制定した人物が建てたと伝えられ、現存する世界最古の木造建築物として知られる飛鳥時代の寺院はどこですか。 (2021年 宮崎県公立入試 類似)
1. 正倉院 2. 平等院鳳凰堂 3. 延暦寺 4. 法隆寺
- 問10 飛鳥時代の外交と国防に関する記述として、白村江の戦いによる敗戦がその後の日本の政策に与えた影響を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 富山県公立入試 類似)
1. 唐や新羅の侵攻に備え、九州に水城や防人を配置するとともに、都を近江の大津宮へ移して国内の守りを固めた。 2. 元（モンゴル）の襲来を警戒し、博多湾の沿岸に石造りの防塁を築いて、全国の御家人を組織した。 3. 清の軍事力に対抗するため、欧米の技術を導入して近代的な軍隊を組織し、江華島事件をきっかけに海外進出を始めた。 4. 大陸との交流を完全に断つため、遣唐使を廃止して国風文化を振興し、武士の力による独自の防衛体制を整えた。
- 問11 飛鳥時代において、従来の豪族を中心とした体制から脱却し、大王を中心とする国家構造への転換を目指した政治理念として、最も適切なものを選びなさい。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)
1. 国民の権利に基づく政治 2. 武力統一による支配 3. 地方豪族による分割統治 4. 天皇中心の政治
- 問12 飛鳥時代、推古天皇の摂政であった聖徳太子が、中国の進んだ制度や文化を取り入れるために派遣した使節の名称として正しいものを選択してください。 (2017年 大分県公立入試 類似)
1. 遣明使 2. 遣新羅使 3. 遣隋使 4. 遣唐使
- 問13 推古天皇の摂政として政治を行い、冠位十二階や十七条の憲法を制定した人物は誰ですか。この人物は遣隋使の派遣や法隆寺の建立も行い、天皇を中心とする国家体制の基礎を築きました。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
1. 中大兄皇子 2. 小野妹子 3. 聖徳太子 4. 菅原道真
- 問14 7世紀中ごろ、中大兄皇子と中臣鎌足が蘇我氏を倒して始めた政治改革（大化の改新）ののち、即位して天智天皇となった彼の事績について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 埼玉県公立入試 類似)
1. 聖徳太子の摂政として冠位十二階や十七条の憲法を制定し、仏教を厚く保護して法隆寺などの寺院を建立した。 2. 唐や新羅による侵攻に備えて、西日本の要所に山城を築き、内陸の大津宮に都を移したほか、日本初の全国的な戸籍を作成した。 3. 天武天皇のあとを継ぎ、律令国家の完成を目指して平城京に都を移し、和同開珎などの貨幣を鑄造させた。 4. 壬申の乱で大友皇子を破って即位し、強力な権力を持って飛鳥浄御原宮で新しい政治の仕組みを整えた。